

卒業式 送辞

校庭に吹くさわやかな春風が今日の先輩方の門出を祝しています。

今、ここに卒業証書を手にした、大宜味中学校第43期の先輩方、ご卒業おめでとうございます。先輩方の晴れやかな姿をみると数々の思い出が脳裏を駆け巡ります。

いつも先頭に立ち、大宜味中学校を引っ張ってくださった先輩方は私達の良きお手本であり、頼もしい存在でした。

行事では、先輩方が率先して運営や進行をしてくださったおかげで私たちも真剣に取り組むことができました。「自分たちの行事は自分たちでやる」と盛り上げ後輩を引っ張っていく先輩方はとてもかっこよく、素晴らしいと思いました。

また、7月からスタートした陸上練習は、夏の厳しい暑さのなかの練習で、先輩たちも苦しいはずなのに、私たち後輩を励ましてくださいました。私たちは、そのような先輩方の声かけに元気をもらいました。1人1人が自分自身の限界に挑戦した陸上練習。それを乗り越えることができたのは先輩たちの存在が大きかったのです。そして、地区陸上当日は、全校生徒・職員で生徒会がデザインしたチームTシャツを着て、大宜味中学校の代表として堂々と他校の生徒と闘うことができ、競技場には大宜味中のテントから絶えることのない大声援が響き、その声援は、選手1人1人の励みとなり、仲間の存在を改めて感じさせるものでした。

そして、全校生徒で参加した国頭地区中文祭のエイサー披露でも、先輩方は私たちの前に立ち、全校生徒でどこの学校にも負けないエイサーを披露することができました。

共に笑い合い、共に励まし合い、先輩方と過ごした時間はとても楽しく、いつも笑顔だったことを忘れません。大宜味中学校の中心に立ち、先輩方の姿は、私たちの憧れでした。いつもみなさんの教室からきこえてきた絶えることのない笑い声からは、先輩方の仲のよさ、絆の深さを私たちに教えてくださいました。集団として、とても一体感があり、団結力のある卒業生のみなさんが今、それぞれの素晴らしい将来に向けて飛び立ちますが、小学校から一緒に仲間を忘れずに、新たな舞台でも自分らしく輝き続けてください、きっと、先輩方なら大丈夫です。

私たちは、普段の学校生活に対する姿勢から最上級生としてどうあるべきかを学ぶことができました。私たち在校生は、この大宜味中学校で先輩方と共に過ごした日々を忘れることはできません。

失敗を恐れず、チャレンジする精神。何事もあきらめない前向きな気持ち。そして、何よりも仲間と喜びや悲しみ、感動を分かち合うことの大切さをたくましい背中ではっきりと示してくれました。どうかこれからも私たちの尊敬する、素晴らしい先輩方でいてください。

そして、これからは私たちが中心となって先輩方が築き上げた素晴らしい伝統をしっかりと受け継いでいきます。今よりもさらにレベルアップした新生大宜味中学校を創っていきます。

先輩方にとって今日は、中学校生活のゴールの日です。また、新しいスタートを踏み出す日です。これから楽しいこともつらいこともいろいろなことがあるでしょう。つらいことがあっても、この大宜味中で過ごした3年間の誇りに思い、心に夢をもち、仲間と築いた絆を胸にがんばってほしいと思います。みなさんが築き上げた大宜味中学校の生徒としての襷を今、私たち後輩は、しっかりと受け取り、繋いでいくことを約束し、送る言葉とします。

令和5年3月11日 在校生代表